

平成20年度「三浦保」愛基金環境保全・自然保護分野公募事業団体による事業評価表

団体名	日本野鳥の会愛媛県支部				
事業名	愛媛県における夜行性鳥類の分布調査				
事業の目的	愛媛県で繁殖する鳥類の中でも、特に夜行性の種についてはこれまでほとんど繁殖状況が分かっていない。そこで、フクロウ類及び世界的に絶滅が危惧されているミゾゴイの分布状況を明らかにすることにより、これらの種に対する今後の保全策を策定する上での基礎資料を整備することを目的とする。				
事業の概要	鳥類の繁殖期である8月上旬までの期間に、県内でミゾゴイ、フクロウ類の生息確認を行った。調査は夜間に実施し、自動車で行きながら任意の場所で停車し、鳴き声によりその種の生息を確認した。愛媛県を地域標準メッシュを基に、111のメッシュに分割し、そのうちの海域を除く68メッシュで調査を行った。				
実施期間	平成20年7月1日	～	平成21年2月28日	総事業費	99,028円 補助金額 98,000円

1 公募事業の自己評価

評価の基準 …… 3 十分できた 2 まあまあできた 1 あまりできなかった 0 できなかった

評価項目	実施団体のコメント	評点
これまでの活動に加えて、新たな取り組みを進めることができたか	県内の広範囲において、これまでほとんど実施できなかった夜行性鳥類の夜間における分布調査を実施することができた。	3
団体独自の創意工夫を行い、事業実施を進めることができたか。また、他の類似団体と比べて、特色のある活動ができたか。	目視が困難な夜行性鳥類を、鳴き声により種の存在を確認する手法を用いて調査を行った。	3
団体の構成員以外の地域住民やボランティアに働きかけ、協働して事業を実施することができたか	種の識別には専門性が求められるため、外部への協力はほとんど求めることがなかった。	1
事業目的は達成できたか	限られた期間及び人員にも関わらず、十分な調査結果を得ることができた。	3
事業費は効率的かつ適正に執行できたか。また、実施方法は適切だったか	本調査での経費のほとんどが調査員の交通費であり、各調査員に走行距離を計測してもらうことにより、適正に執行することができた。	3
事業を実施することにより、地域の環境保全・自然保護活動の活性化を図ることができたか	本調査で得られた結果は、今後、これらの鳥類に対する保全活動を行うに当たって、基礎資料として活用されることになる。	2
事業実施後に、参加者の満足度や意見を聴取し、今後の活動に生かせるよう取り組んだか	調査員からは今後の調査に活かすべき新たな知見を得ることができた。	3

2 公募事業の成果や反省点(全体)

愛媛県内においてミゾゴイ及びコノハズクの繁殖期における分布状況を調査した結果、繁殖個体数が非常に少なく、分布が局地的であることが明らかとなった。一方で、調査に適した時期や時間帯が今回の調査によってより明確になったため、これらの知見を今後の補足調査に活かしていく予定である。

3 公募事業実施に対する意見や要望

今回の事業開始時期が、調査対象となる鳥類の繁殖時期に対して遅かったため、十分な調査ができなかったため、今後は事業開始時期を少しでも早める方向でお願いしたい。